

東北アジア研究談話会 2013年度報告

NE Asian Studies Afternoon Talks 2013

趣旨: コーヒー・お茶を飲みながら研究発表を聞き、センター内研究交流・親睦を深めるとともに、共同研究等の企画着想の機会を提供する。

開催時: センター全体会議と運営会議の間の25分間(発表15-20分+質疑5-10分程度)

年月	話者		題目
2013年4月	岡 洋樹	教授	清代モンゴル史の研究
2013年5月	滝澤 克彦	教育研究支援者	モンゴルにおけるキリスト教福音派の展開とその諸条件
2013年6月	巽 由樹子	教育研究支援者	19世紀後半シベリアの出版—研究史と展望について
2013年7月	アルタンザヤ L. Altanzay	客員教授	The Shabi (disciple) in the society of Kharkha Mongolia during the Qing period 清朝時代のハルハ・モンゴル社会におけるシャミ(沙弥)について
2013年9月	塩谷 昌史	助教	自然環境と人間-工業化の観点から
2013年10月	千葉 聡	教授	東北アジア生物多様性研究
2013年11月	潘 建国[磯部]	客員教授	日本に所蔵される中国小説版本の研究(日本所蔵中国小説版本研究)
2014年1月	石井 敦	准教授	マグロ資源の国際的管理と今後の行方
2014年2月	リヒタート レオナルドウス	教授	Netherlands-Russian cooperation in the field of radar
2014年3月	寺山 恭輔	教授	スターリンの対新疆政策